

K A I H O U - Y A M A G U C H I



会  
報

や

ま

く

ち



山口県土地家屋調査士会

会  
報

# やまぐち



No.74 1999



SEPTEMBER

## C O N T E N T S

会長就任あいさつ.....	1
副会長就任あいさつ.....	3
第52回定時総会を終えて.....(議長 西本聡士) ...	6
山口県土地家屋調査士会役員名簿.....	7
境界鑑定の取り組みについて(業務担当副会長 山根 勇) ...	8
支部総会報告.....	9
支部だより.....	12
法務局から会員への周知事項.....	13
司調共催囲碁大会.....(渡邊満洲生会員) ...	17

### 会員の作るページ

イカダ大会に参加して.....(広石 勝会員) ...	18
中国ブロック釣大会に参加して ... (小嶋慎一郎会員) ...	22
ラジコンヘリ.....(柴田敏明会員) ...	23
拓ちゃんのCDできました.....(田中拓朗会員) ...	24

### 事務局だより

会員異動状況.....	25
会務報告.....	26
広報部新メンバー紹介.....	27



## 会長就任のあいさつ

山口県土地家屋調査士会会長

乗川 良介

20世紀の最後の年と21世紀の幕開けの年にあたる1999年から2001年の2年間を過日開催された山口県土地家屋調査士会第52回定時総会において再度会長として拝命を受け、重大な任務に身の締まる思いがしております。

幸い副会長にベテランの藤口、三好両副会長が再選されたこと、新たに小嶋副会長と交替で就任していただいた山根副会長も本部支部を通じ、過去数々の要職にあった会務への理解者でもあり、各理事を始め役員の皆様、支部長各位も立派な人材揃いで21世紀を迎えることができることに對し感謝の念でいっぱいあります。

申し遅れましたが、第52回の定時総会には公務多忙な中を割愛していただき、来賓としてご臨席賜った山口地方法務局長 尾崎健造殿を始め、衆・参両議員、山口県法律関連士業ネットワークの理事長並びに関連各士業の会長、日本土地家屋調査士会連合会会長代理の中友副会長殿、他多数のご来賓の方々には



大変ありがたく感謝申し上げます。

役員一同を代表して、紙上から失礼ではございますが、お礼を申し上げます。

さて、今期は制度制定50周年を迎えることとなりますが、この節目を迎える時と相まって、社会、経済の構造も大きく変化しようとしています。

土地家屋調査士制度のみならず他の士業制度に共通する一身専属性、業域の制限等の各規制も緩和されようとしています。

平成11年3月30日閣議決定された規制緩和推進3十年計画の報告書に、業務独占資格等を中心とする資格制度の見直しの議論の中でも大きく取り扱われていることは既にご承知のとおりであります。

また、更に事務所形態においても総合的法律、経済関係、事務所の開設、いわゆるワンストップサービスも国民の利便を図る手段の一つとして推進して可との結論が出されています。

事前規制型から事後チェック型の行政に転換される行政へ移行しようとしている今日、





国際的に開かれた自己責任原則型の社会構造へ大きく変わり行くであろう今日、生き残りをかけた正念場であると思っています。

次に来年は21世紀を迎えることとなると共に制度制定50周年がやってきました。

連合会においては既に50周年事業の一貫として伊能ワークにサポーターとして、参加各会へ協力要請がなされているところであり、当県は山陽路が広島から入り、2000年4月25日から5月8日までの2週間、山陰路が福岡から入り2000年10月8日から10月19日までの12日間が予定されています。50周年事業の一部として社会へのPR効果は大なるものがありますので、多くの会員並びに関係者の参加をお願いしておきます。

会長就任のあいさつが、情報の伝達で終始いたしましたが、大改革の時を実感していた

だくと共に我が制度の充実のため、お力添えをお願い更なる充実発展を期待いたし、合わせ第52回定時総会でご承認いただいた事業計画に基づき、全役員一丸となって会務の執行をして参る所存であることをお誓い申し上げます。会長就任のごあいさつといたします。

なお、本誌をお借りして連絡事務といたし



ますが、小職去る平成11年6月25日開催の日本土地家屋調査士会連合会の第55回定時総会において当連合会理事として再選され、総務部所属として拜命を受けました。

制度改革に、事務所経営形態にと多難でしかも重要な時に重圧感でいっぱいではありますが、一生懸命務めることをお誓いいたし、ご報告といたします。

単位会の会務に合わせ連合会事業にも絶大なるお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。





## 会員証や補助者証の 常時携帯を

副会長 瀬口 潤 二

役職を長く続けることは、組織の成長にとって必ずしも良くないとの指摘を承知の上で、再度、副会長を引き受けることになりました。

三好副会長と新任の山根副会長と3人で桑川会長の補佐役を努めたいと思います。

会員みなさまの新会館が新築され、21世紀への土地家屋調査士会の拠点は準備完了しました。新世紀を意識し、社会全体の動きは、新しい社会の仕組みの創造が合い言葉となっています。世界の大きなうねりは、我々土地家屋調査士業界をも飲み込んでいます。

高難度の国家資格さえ持っていれば、生活が保障されると思われていた弁護士さんたちのあり方が現在論議されています。我々の周辺資格である行政書士の資格に対する方向性も、示されつつあります。

国家資格に存在価値と国民への利便性が示されなくては、国民が認知しない状況が生まれているのです。

我々土地家屋調査士は、「何をしてきたのか」を見つめなおす時期だと思います。「何をしてきたのか」を主台としてしか21世紀が始まらないのだと考えています。

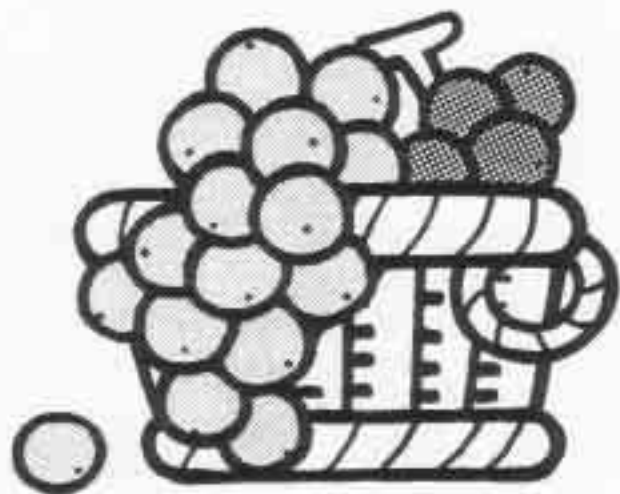
来年は、土地家屋調査士制度50年の節目の年を迎えます。

我々は、業務の都度、「登記簿と現地」が一つ一つ対応しているのかを調査し、できる

だけその状態を維持させる役割を担っています。執行部としては、この役割は、土地家屋調査士以外担えないと自負し、国民及び関係機関へ働きかけています。皆様の後押しが是非必要です。

過日の総会で皆様にお願ひした、会員証や補助者証の常時携帯、胸元でのアピールは、こうした土地家屋調査士の意志の表明であると御認識下さい。

登記簿がどの様に管理されるようになろうと、登記簿の表題部に関する「信頼性」は、我々の存在抜きにはあり得ないことを「胸を張って」主張しようではありませんか。





## 副会長 2 年生

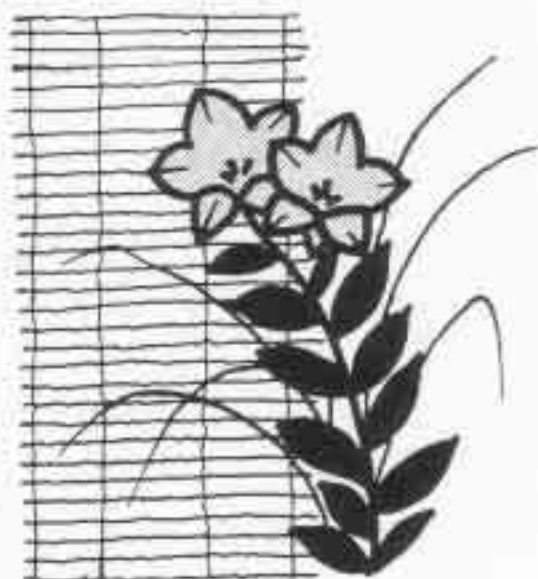
副会長 三好 一 敏

人はある年代に達すると決まって何らかの役目が回ってきます。初めて体験する役目はどうしてもためらいがちとなり、できれば逃れたい心境になります。しかし一つの役目をどうにかこなすことができたときには、「なんだ自分にもできるじゃないか。」と一つの自信となり、また次の目標に向かいたくなるものです。

私も副会長への就任はその見えない何かの恐怖と自信のなさからとても器でないと感じていましたが、1年生（1期）をどうにか終えるころにはすこし落ち着いて振り返る余裕もできてきました。この2年間は会館

の建設、竣工、披露、山口会にとって歴史的偉業を成し遂げる一員に加わっていたことが嬉しく、次代の会員への大きな財産とすることができ、他業種からも羨ましがられる存在となって山口県土地家屋調査士会の会員としての誇りを感じております。

2期目に待っている仕事は、平成12年に山口会が取り組む制度制定50周年記念事業であり、今年度に構想を温め、西暦2000年20世紀最後の年にふさわしい事業が行われるよう今から心の準備をしているところであります。2期目となる今年度もよろしくお願いを致します。





## 副会長就任挨拶

副会長 山根 勇

第52回総会で副会長に選任されました。

指名委員会より打診をいただいた時点で私自身驚きもありました。諸先輩にご相談に乗っていただきアドバイスを受けたが、それでもとても自分には重過ぎる役と思って悩みました。そういう自分の中で迷ったあげく、最終的には、お引き受けすることを決心いたしました。就任後の支部総会を会長と一緒について回りましたが、支部役員の方々には色々ご配慮いただき感謝申し上げますと共にご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。強制会である以上組織が機敏に機能するようになっていなければいけないのですが、その意味で支部の活動状況をなんとなく感じて嫌れたことに自分自身良かったなと思います。

私は業務担当をお引受することとなりましたが、今山口会で緊急に取り組まなければいけないのは、新しい規制緩和の風が吹く中で昨年度も説明会が行われた調査・測量の実施要項の徹底を図る事ではないかと考えています。今、行政は事前規制から事後チェック型の行政に転換すると云われており、この情報公開法の施行に伴う不動産登記法の改正も予定されております。そうした流れの中で私達土地家屋調査士が自ら襟を正して本来の業務の質を高めていくことこそ生き残れる道と考えております。

支部、本部一体となった研修、又行政との協議会等を通じてより効率的有意義な研修を考えていきたいと思っておりますので、皆様方のご意見をいただければ幸いです。

皆様のご指導ご協力をいただきながら2年間を努めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。





## 第52回定時総会を終えて

議長 西本 聡 士

平成11年度の本部総会は5月26日(木)調査士会館西側に位置する、ぼるるプラザ山口で開催されました。昨年の新会館稼働に伴い経費節減や、落成式に出席できなかった会員の方々にぜひ新会館を見ていただくの配慮で、ここ近年総会を開催していた小郡町の山口グランドホテルを離れての開催となりました。初めての総会会場利用ということで本部理事を中心とする担当者の面々は、会場設営・駐車場の整理と忙しく動かれていたと思います。また、出席された会員の方にも戸惑われた方が多くいらしゃったと推測されます。ご苦労様でした。尚、新会館にはじめて入られ感慨深げに見学をされていた方が結構多くいらしゃったことを付け加えておきます。

総会は10時30分、定刻通り三好副会長の司会で肥前山口地方法務局長を先頭とするご来賓の入場から始まりました。乗川会長の調査士制度の現況や将来を見据えた挨拶、会員表彰、来賓挨拶と型どおりに総会は進行し11時45分議長選出、支部長会議長が総会議長を勤めるという慣例で私が登壇する運びとなりました。当日の総会員数264名、本人出席105名、委任状出席111名、合計216名の出席という報告で本総会は正当に成立し議事に入りました。昼食をはさんで休憩の後、平成10年度事業に関する第1号議案、そして辛口の監事講評を受け、平成11年度事業に関する第2号、第3号、第4号議案と無事進行し執行部の提

案どおり可決されました。役員改選に関する第5号議案については役員推薦委員会による選考の方法を決議し、乗川会長、瀬口・三好・山根副会長が選任されました。以下理事、監事、総紀委員の選任については各支部において選出し報告を受けることを決議し各支部に一任いたしました。最後に会員からの意見として、役員選考の方法につき時代の流れに沿ってその方法を見直す時期ではないかとの発言を受け2～3の意見の交換があったことを付け加えておきます。

議事は15時15分予定より1時間早く終了いたしました。





# 山口県土地家屋調査士会役員名簿

任期 平成11年5月～13年5月

平成11年6月29日現在

役 職		氏 名	支 部	役 職	氏 名	支 部			
会 長		乗川 良介	徳山	室 長	瀬口 潤二	宇部			
副会長	担当部	総務・財務	瀬口 潤二	研究	研究員	浦井 義明	岩国		
		業 務	山根 勇		防府	*	西本 聡士	徳山	
		広 報	三好 一敏		萩	*	福田 裕之	山口	
			*		大田 雄二郎	防府			
事 理	総務・財務部	部 長	西本 聡士	綱紀委員会	綱紀委員長	井尻 富士夫	岩国		
		副 部 長	高杉 千河生		宇部	* 副委員長	鶴巻 栄一	宇部	
		部 員	松田 邦利		岩国	綱紀委員	井村 剛	徳山	
		部 員	青木 正治		山口	*	玉田 哲二郎	防府	
	業務部	部 員	大森 正秀		岩国	*	八木 哲郎	山口	
		副 部 長	楠木 俊夫		下関	*	長田 幸三	萩	
		部 員	吉田 多里		宇部	*	福田 眞一	下関	
		部 員	廣石 勝		萩				
	広報部	部 長	打越 充浩		下関	支 部 長	支部長会議長	浦井 義明	岩国
		副 部 長	坂本 敬子		徳山		* 副議長	渡邊 満洲生	山口
		部 員	三刀屋 康之		防府		支 部 長	磯村 美樹	徳山
		部 員	柴田 敏明		山口		*	檜山 高明	防府
監事	代表監事	木下 勝	防府	*	河内 浩己		萩		
	監 事	野村 幸人	山口	*	上原 英治		宇部		
	監 事	清水 靖士	下関	*	下野 洋二		下関		
名 譽 会 長	新本 清人	岩国	注意勧告理事會	統轄理事	乗川 良介		徳山		
顧問	三好 敏夫	萩		理 事	瀬口 潤二		宇部		
相談役	高田 吉雄	下関		*	三好 一敏		萩		
*	小嶋 慎一郎	山口		*	山根 勇		防府		
ネットワーク理事	乗川 良介	徳山		*	西本 聡士		徳山		
*	瀬口 潤二	宇部	協会派遣理事	山田 勇	防府				

# 境界鑑定を取り組みについて

業務担当副会長 山根 勇

山口会は委員会組成に向けて準備活動にはいることを本年度理事会において、決議したところでもあります。

連合会では既に35会が組成しているところであり、山口会でも対応を急がれているところでもあります。

先の連合会研究室研究部門の研究報告でも発表されているとおり、土地家屋調査士が境界、地図に関する専門職能であることが社会に定着し、境界鑑定人としてはもちろん、仲裁役としても機能しうることを目標とされ、更にその概要として、当事者からの境界確認、鑑定の依頼において個々の調査士で解決できるものは境界確認結果の書面に調査士が署名する手法で処理し、複雑なものは調査士会に仲裁センター類似機関のような境界鑑定センターもしくは、境界紛争処理センターを設置する「1997年10月号」とあります。

連合会においては毎年境界鑑定講座を開催され諸官庁に対しても土地家屋調査士が境界鑑定に関する唯一の専門職能であることをアピールしておられるところだとも思います。

既に大阪土地家屋調査士会は、この事に関して平成3年頃から取組まれ連合会でも特に先進の単位会であることから、先日組成準備の担当部会の私と、業務部長大森氏が会長の任を受け、7月19日大阪土地家屋調査士会館を訪問いたしました。

大阪会は（11支部1100人の会員）平成8年で、境界鑑定委員会を発足され1年間計12回の講演を実施され、今年度はより実務的な鑑定研修を行われる予定のようです。その詳細については今後、山口会として検討していただいて何らかの形で伝達していきたいと考えております。

私達の日常業務は、筆界（原始境界）の確定が大変重要なことは申すまでもありません。連合会では、この鑑定業務が法2条業務の境界確定の延長線上にあることについては何ら問題がないという見解が出されています。

今年度、境界鑑定講座を山口会は予定しております。

既に司法制度特別調査会において法務省より、準司法機関手続きについての必要性が説明されています裁判外紛争処理仲裁センターの法制化に対応するためにも、また日々、日常業務遂行において土地家屋調査士が専門分野の職業人としての筆界の確認における判断能力を高めていく為にも、研修をしていく必要があると思っています。

# 山口支部の定時総会について

山口支部支部長

渡 邊 満洲生

平成11年度の山口県土地家屋調査士会山口支部の定時総会が次のとおり行われましたので、その概要を報告いたします。

## 記

日 時：平成11年6月19日(土)

午前10時～午前11時

場 所：山口市駅通り二丁目9番15号

山口県司法書士会館2階会議室

来賓者：山口地方法務局首席登記官 杉村靖雄殿  
山口県土地家屋調査士会会長

乗川良介殿

山口県土地家屋調査士会副会長

山根 勇殿

議 事：議案第1号「平成10年度事業報告並びに収支決算承認について」は、拍手多数で可決承認された。

議案第2号「平成11年事業計画(案)並びに収支予算(案)承認について」は、本部研修会及び支部研修会に積極的に参加し、会員の資質の向上を目指し、また収支予算(案)についても執行部原案どおり可決承認された。

議案第3号「役員選任規定(案)の承認について」は、青木支部長が役員任期(2年)はあるものの、改選期には再任が多いので、今後は誰もが役員を経験することとし、そのためには今後山口支部を会員全員で盛り立てていくとの意味を込めて、会員名簿順を原則とする役員選任規定(案)を議場に諮り、拍手多数で執行部案どおり可決承認された。

新たに決定した山口支部の役員は次のとおりとなった。

支 部 長：渡邊満洲生

副支部長：本間正幸

企画委員：野上茂樹、藤原淑雄

理 事：河村 清、野上茂樹、萬代徳次、

柴田敏明

広報協力委員：泉原 堯

監 事：百田芳文、福原嘉幸

の各委員が就任した。

議事が終了し、議長退席の後、杉山首席登記官、乗川会長から祝辞をいただき、司会者から新入会員の紹介があり、簡単な自己紹介の後、午前11時総会が終了した。



# 第52回宇部支部総会

宇部支部 埴生正行

宇部支部総会は6月18日、宇部全日空ホテル梅の間において盛況のうちに開催されました。冒頭、水津支部長の挨拶に続き、来賓の乗川会長から、行政改革、規制緩和の中での調査士の今後のあり方について連合会での動向を含めた挨拶をうけ、山口地方法務局宇部支局長からお祝いのメッセージと共に本年度行われるコンピュータ化に伴う事務の協力についての要請もありました。

議事は高杉会員を議長に選出し、執行部に対して経費的に負担のかからないようにという意見がありましたが、原案通り全て可決されました。

また、役員改選においては上原支部長以下執行部の原案に沿って承認されました。

恒例の懇親会についても例年通り司法書士会と合同で同ホテルの弥生の間で開催され終始和やかな雰囲気の中で会員同士の懇親を深めました。



# 支部総会がおわり…

下関支部 池本賢治

平成11年6月5日(土)東京第一ホテルにおいて例年のごとく司法書士会との合同支部総会を出席会員43名(会員数52名)および下関市長江島潔氏、本部からは乗川会長、山根副会長をはじめ多くの来賓のご臨席のもとに開催し、各議事も無事終了し下記の会員が支部役員として選任されました。

支部長	下野 洋二 (旧副支部長)
副支部長	池本 賢治 (新任)
理事	白木 博 (重任)
	田代 雄三 (重任)
	義満 一 (重任)
	宮崎 幸三 (新任)
	溝口 保二 (旧支部長)
監事	時野 博道 (重任)
	高野 成雄 (新任)

新役員は、下野支部長のもと全員任期を全うし、微力ながら会の運営の一助となるよう努力していく覚悟であります。

これからも会員皆様のご協力を心よりお願い致します。

下関支部にも、多趣多才な人物あり

表に出るのが好きな人  
 お金の計算の苦にならない人  
 宴会でカラオケを歌うのが好きな人  
 ネクタイの嫌いな人  
 人当たりのよい人  
 パソコンの好きな人  
 お金を持ってない人  
 調査士を趣味としている人  
 会の運営に協力的な人  
 会の運営にいつも一言ある人  
 二次会、三次会が好きな人  
 山の測量にもネクタイで行く人  
 支部総会にも出たがらない人  
 インターネットで頭を悩めている人  
 お金にならないことをする人

…

このような支部会員のニーズに答えて支部行事を有意義なものとするべく支部役員一同胃をいためながら無い知恵を出し合っている今日このごろであります。

私事ですが、秋山真之や木下小一郎には、成れませんが支部長の手助けが多少でもできるよう学んでいきたい、各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 支部だより

岩国支部支部長 浦井 義明

岩国支部は支部内の市町村数が県内7支部の中で最多の17です。

総会の会場もジブシーの如く、支部内のあっちでやったり、こっちでやったりします。

11年は錦帯橋の畔の「観光ホテル」

10年は星のまばたきが身近に見える銭壺山山頂の「山口県ふれあいパーク」

9年は内海の絶景地「東和荘」

8年度は秘境とはいかないですが山間の温泉地「錦グリーンバレス」

ここ最近4年間の総会の会場です。

当日、支部総会そのものは肅々と執り行われます。

昼食をとり、総会そのものは終わります。午後からが岩国支部総会の真骨頂です。

「公図上は直線が表示されている筆界線を、現地が穏やかなカーブになっている土地だからといって、勝手に曲げるな」

「この前見たお前の測量図、ありゃ何だ、何年たっても全然進歩がないなあ」

「なぜ官公署の登記はなんでもかんでも嘱託登記であるのか、一般事件でやっちゃいかんのか」

「法19条問題の解決は、調査士が測量会社の社員になれば良い」

「全筆測量か部分測量か、もう結論の出ている議論をするな」

等々。こんなことを、昼から夜も更けるまで延々何時間もやり合います。

当然泊まり込みです。

場合によっちゃ翌日まで議論を引きずります。

端からみたら喧嘩をしているような口調になることもあります。

当然、暗黙の了解として調査士の業務に精通していることが前提です。

そうでないと、議論に加われない、状況でもあります。

これだから、おもしろいのです。

来年の支部総会はどこで行われるんじゃろか。あの喧嘩のような研修会はおもしろいで。ぜひ支部総会に行って、普段常々疑問に思っていること、聞いてみたいことを発言してやろう。と多数の支部会員が今から心持ちにしております。



# 平成11年度支部事業予定

徳山支部支部長

磯村美樹

## 研修会及び親睦旅行

- ・情報処理（Eメール、インターネット等）に関する研修会

開催日 8月21日(土)午後1時から午後3時

場 所 徳山市健康保険センター

- ・親睦旅行 日 程 10月9日(土)、10日(日)

旅 行 先 名古屋

- ・表示登記事務に関する研修会

開催予定 11月末

- ・GPSに関する研修会

開催予定 平成12年2月

## 徳山支部メーリングリスト開設

- \* 徳山支部は7月より支部のメーリングリストを開設し会員間で利用し始めました。



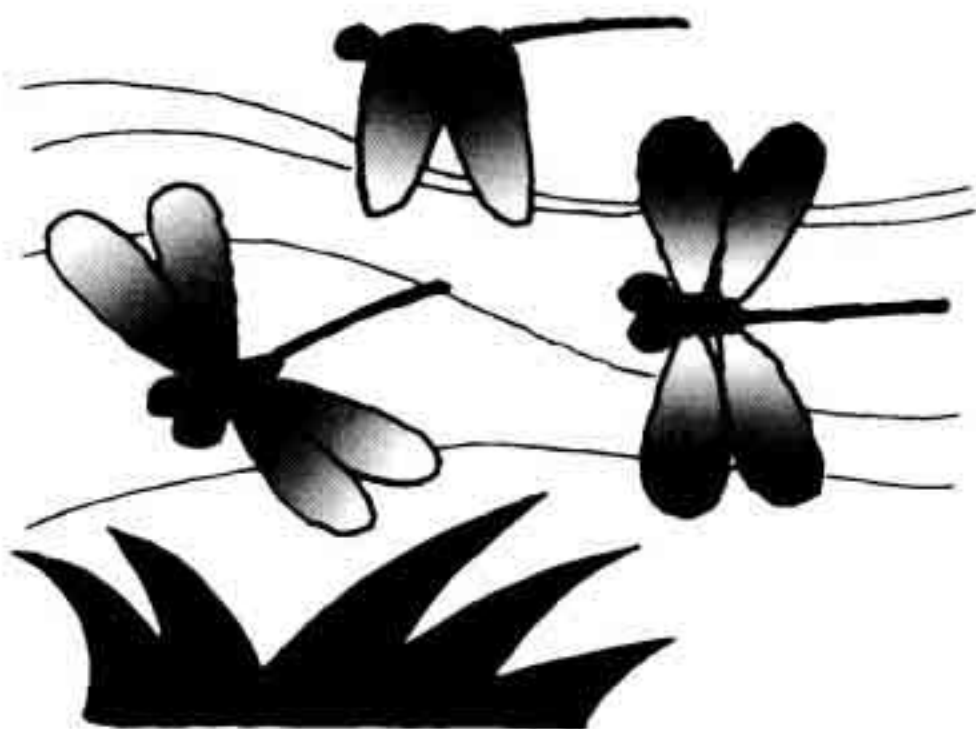
## 2期目はさらに意欲的に

萩支部支部長 河内 浩 己

支部長に就任して、早や2年、支部会員の皆様のご協力により無事、務めさせていただきました。

若年の身でもあり、万事不行き届きのことと存じますが、2期目はさらに意欲的に研修会、広報活動等に、取り組む所存です。

皆様、不況気といわれつつも、21世紀に向って、突っ走りましょう。





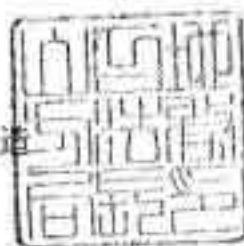
# 法務局から会員への周知事項



総 庶 第 2 9 7 号  
平成11年8月13日

山口県土地家屋調査士会長 殿

山口地方法務局長 尼崎 健 造



山口地方法務局宇部支局における不動産登記事務のコンピュータ処理について（依頼）

平素は、登記行政につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当局宇部支局におきましては、平成11年11月10日（水）に電子情報処理組織による不動産登記事務の取扱庁としての指定を受け、同支局管内のうち、小野田市、吉敷郡阿知須町及び厚狭郡楠町の土地及び建物について、同月15日（月）からコンピュータにより処理することとなりますので、貴会会員に周知していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お 願 い

山口地方法務局

不動産登記事務のコンピュータ化をするためには、法務大臣の指定した日以前に申請された登記事件をすべて指定日までに処理し、当該データをコンピュータに入力することが必要となります。

このデータ入力をスムーズに行うためには、申請された登記事件の早期処理を要することとなるため、やむを得ず出件調整をしていただくこととなりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、宇部支局は登記簿総筆個数の関係から、コンピュータ化を1次地区、2次地区の2分割により行うことになっており、2次地区における指定日は下表のとおりとなっておりますので、よろしくをお願いします。

地 区	1 次 地 区	2 次 地 区
対 象 地 域	宇部市・厚狭郡山陽町	小野田市・厚狭郡楠町・ 吉敷郡阿知須町
指 定 日	平成11年8月11日(木)	平成11年11月10日(木)
ブ ッ ク レ ス オ ー プ ン 日	平成11年8月16日(月)	平成11年11月15日(月)

## 【甲号事件】

1 指定日の2週間前頃から、特に急を要しない事件は提出を控えていただき、オープン日以降の提出をお願いします。

提出を要する事件については、円滑な収束処理の遂行上、できるだけ午前中に提出していただきますようお願いいたします。

表示事件については、実地調査の関係から、特に早期提出をお願いします。

2 指定日前日、前々日は、事件の提出は極力避けていただくようお願いいたします。

3 指定日からオープンまでの事件は、オープン日からコンピュータにより処理することになりますので、事件の集中を回避する必要から、極力さけていただくようお願いいたします。

4 事件の補正は、データのコンピュータ入力の障害となりますので、早急な対応をお願いします。特に指定日前日、前々日の事件の補正は当日中に補正を完了させていただきようお願いいたします。

## 【乙号事件】

指定日からオープンまでの間は、対象地域についての「登記簿の謄抄本」及び「登記事項証明書」、「登記事項要約書」の交付はできません。

なお、特に必要な場合は、指定日前日付けの登記簿謄抄本の交付となりますので、よろしくをお願いします。

# 平成11年度司調共催囲碁大会

山口支部 渡邊 満洲生



毎年行われていますこの囲碁大会が、今年も次のとおり行われましたので、報告いたします。

## 記

1. 日 時 平成11年8月29日(日)  
午前9時30分～午後3時
2. 場 所 山口市駅通り二丁目9-15  
山口県司法書士会館
3. 参加者 土地家屋調査士会員 2名  
司法書士会員 5名  
司・調業会員 5名  
法務局退職者 1名  
計 13名
4. 成 績 優勝 長田幸三初段  
(調・萩支部) 5勝0敗  
2位 渡邊辰行2級  
(司・山口支部) 4勝1敗  
3位 大井 馨初段  
(司・防府支部) 4勝1敗



4位 渡邊満洲生三段

(司・調山口支部) 3勝2敗

5位 橋坂 守五段

(司・岩国支部) 3勝2敗

5. その他 囲碁は楽しい頭のスポーツです。囲碁を知っている会員(または補助者)は、この大会に参加されますようお願いいたします。

なお優勝された長田会員は勝ち方の内容がよいのと、過去の成績を考えて二段に昇段しました。



「土地家屋調査士」のPRのために

## イカダ大会に参加して

萩支部 廣石 勝



クルー応援団記念撮影

私が、イカダ大会に参加してみようと思ったきっかけは、司法書士の資格は、世間には大分知れ渡っているが、「土地家屋調査士」の資格そのものは、自分の土地家屋調査士の業歴20年の体験からして、世間には十分知れ渡っていないから常日頃より、何か少しでも、「土地家屋調査士」の資格と業務内容を世間にPRすることはできないものだろうか、と考えていたところ、阿武町役場の広報誌に「イカダ大会参加チーム大募集」の記事が出ており、「自分でできることはこれしかない。これだ!」と直感し、直ぐに支部を通して願い出した訳である。幸いにも、本部の方でも

今までにこのような催しはしたことがないので、してみようということで、OKのサインがでたので、次の段階へと進んでいった。

早速、6月15日火にイカダ大会参加の申込書を出し、7月1日木のイカダ大会説明会に片山副支部長と私が出て、説明を聞き、納得し、7月2日金に自己(船)PRと乗船メンバー表を書いた誓約書を出した。

7月6日火に片山副支部長、私、三好事務所の補助者2人、竹内事務所の補助者1人の5人で、製作の打合せ、段取りを話し合った。

そして、製作に入っていくのであるが、今までイカダ作りはしたことがないので、先ず、



## なご夏まつり イカダ大会

イカダ大会の参加チームを次のとおり募集しています。みなさんの積極的な参加をお待ちしております。

平成11年7月25日(日)  
10:30~13:00  
阿武町道の駅下海浜スタート  
～鹿島湾内一周

参加資格  
中学生以上統一制鹿島市の中学生  
～高1迄(一部例外あり)  
高校生、市内、近郊在住の若者  
誰でも参加できます。

チーム構成  
1チーム4人以内

参加料  
一般のみ、イカダ1艘につき3000円

応募締切  
平成11年7月23日(金)

申し込み・問い合わせ先 鹿島市社会福祉課(TEL.22046)まで  
主催 阿武町イカダ大会実行委員会

賞金・賞品総額  
**30万円**

●抽選の日  
●抽選の場所(阿武町公民館)

### 賞金・賞品総額に魅せられて

7月15日(日)に地元の中学生在がイカダ作りをするというので、片山副支部長と私が何か参考になればと思い立ち、中学生のイカダ作りを見ることにした。中学生のイカダ作りを2人で見て、竹の組み方の工夫、発泡スチロールと竹の固定の仕方、ナイロン紐とロープの結び方等を見て帰って、その日の仕事が終わってから、片山副支部長と私、そして、萩市内の三好事務所、竹内事務所、上村事務所の補助者7人とで協力して、イカダ作りをした。

まず、片山副支部長が、前以って径50cm長さ1mの発泡スチロールの中心に穴を開けてきてくださって、それに階段の木の手摺りの4mものに発泡スチロール4個を横に通してつなぎ、これを2本作り、浮きとし、浮きの間隔は1.8mとした。(これは片山副支部長の名案であり、これが浮きとして発泡スチロールがしっかり固定しているので、間に海水が入らなくて抵抗が少なく前によく進むようになるのである。)次に浮きに合わせて平行に大きめ4mの竹を4本並べ、これに直角に2mの小さい竹を4本前後に2本ずつ組みあわ

せ、ナイロン紐で先ず、井桁に縛るのであるが、これが中々難しい。縛り終わると、今度は麻ロープを使って井桁に組んだ竹を、浮きである木を通した発泡スチロールに固定するのであるが、波があたって崩れないようにするために、色々工夫してどうにか長さ4m幅2mのイカダの形になった。そこで、早速、海に浮かべて試験をしてみた。すると、不安は吹っ飛んで、一気に顔がほころんだ。イカダは、よく浮いているし、オールで漕いでも波を飛ばしてスイスイと気持ちよく進むではないか。「よし！これはいけるぞ。」と、製作者全員、顔をあわせ喜んだ。



イカダ製作中

7月22日(日)はオール作りと練習の予定をしていたが、夕方より通り雨となった。しかし、もう日がないので、オール作りをする事にした。

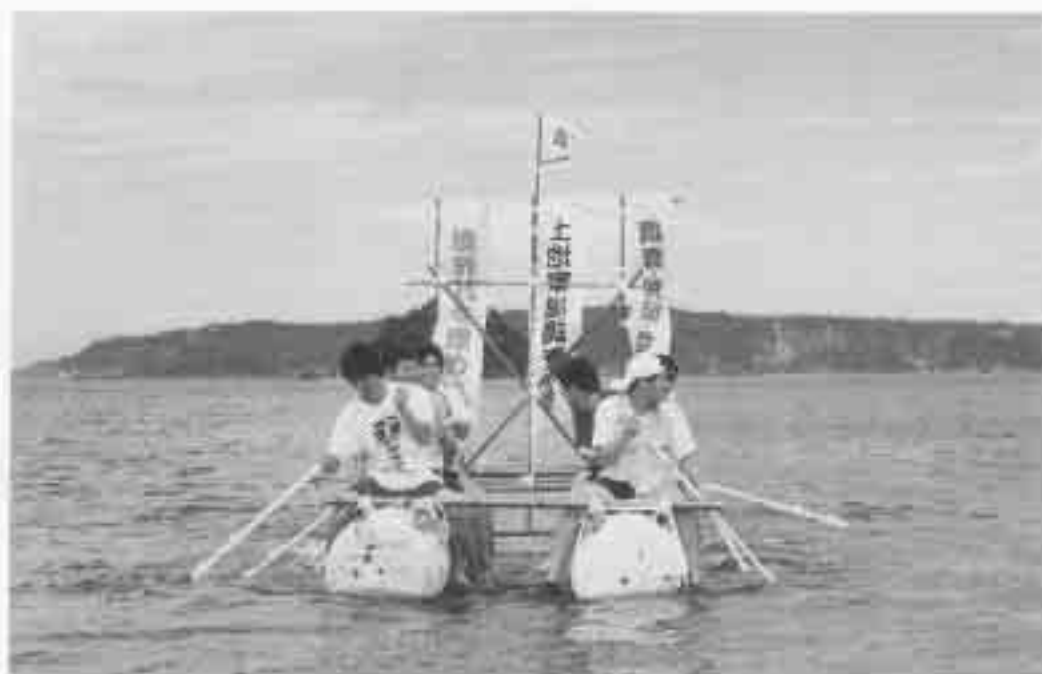
オールはどのような材料で作るか、製作者全員で話し合った末、棒は1.8mのビニール巻きの鉄製とし、水掻きの部分は、6mmの厚さの幅15cm長さ30cmの塩化ビニール板として、これを鉄製の棒に金具3個を使ってネジと接着剤で固定することにし、取りかかった。出来上がったオールは、少々、水を掻いて進

むには、重く抵抗が有るように感じたが、まあ！良かろう、ということになった。

イカダの後方にポールを3本立てて、今回の「土地家屋調査士」のPR作戦の戦術である「土地家屋調査士」のPRのためには、船と旗をどのようにすべきか、少々考えた末、船は幅40cm長さ1.5m寸法で、文句は、「土地家屋調査士号」を白地に黒文字、「調査・測量・登記手続」を白地に青文字、そして「境界杭を埋めよう」は、最も目立つ白地に赤文字の3本建とし、旗は幅40cm長さ55cmの大きさとし、白地に緑の柄マークと黒文字の支部

り晴れ上がり、風で、イカダ大会には、最高の日となった。

大会は阿武町長の挨拶に始まり、選手宣誓があった。一般の部は17チームの参加があり、我が艇「土地家屋調査士号」は、イカダの後方に3本ポールを立て、上に記載した3本の旗を付け、真ん中の長めのポールに上の方に旗を付けた。そして、我が艇「土地家屋調査士号」のクルーは、森市内の竹内事務所2名、上村事務所1名、三好事務所5名の計8名の全員20歳代の若い補助者で固め、万全の状態で、午前11時のスタートを待った。午前11時



土地家屋調査PRという、大賞名分を背負って…。

名入りとした。これで、PRに役立つだろう、と思いながら。

大会の前日、24日土の天気は、もう梅雨が開けたらしいというのに曇り空で気分が晴れない天気であったが、大会当日の25日田の天気を神頼みするだけであった。

しかし、大会当日の25日田は、支部会員とその補助者の日頃の行いがいいのか？すっか

の合図と同時に勢い良く飛び出した。目指すは沖にある2つのブイを回って出発点に帰って来るコースで、距離1.5kmある。全然、練習をしていなかったもので、始めは方向がうまくとれなかったが、次第にコツをつかんで、どうにか前に進むようになった。しかし、参加チームは、何回も出場している強敵ぞろい、で、コツを飲み込んでおり、中々上手であり、



スタート直後各艇団子状態

全員20歳代の若い精鋭メンバーでも、苦戦を強いられた最初の折り返し点であるブイのあたりでは、7位の順位であり、次の折り返し点のブイでは、少々馬力がおちたのか？10位となっており、ゴールを目指し最後の頑張りをした。結局、最後の力を振り絞り、10位となった。ちなみにタイムは、40分ぐらいだった。我が艇「土地家屋調査士号」のクルーの皆様、大変お疲れさまでした。心より感謝します。

競技後の閉会式で、今回より一般投票となった「おもしろいDE賞」（創作賞）において我が艇「土地家屋調査士号」は、投票数5票を獲得し、見物人の注目を引いたのは、特筆すべきことである。これは取りも直さず、一般大衆が少しは「土地家屋調査士」という資格に理解を示した現れだろう。顧みるに、今回の作戦の戦術であるイカダによる「土地家屋調査士」のPR作戦は、大いに成功したと自信をもったのである。

この行事に最もご心配をいただき、お世話してくださった片山副支部長には、本当に心からお疲れさまでした。又、萩市内の各事務所の補助者の皆様、何回も作業に出でただ

き本当にご苦労さまでした。そして、この催しを押し進めてくださった河内支部長には、心より感謝します。

暑い中、競技の応援に駆けつけて下さった会員、補助者、家族、司法書士の皆様方ご苦労さまでした。

最後に、私の案を実現して下さいました山口県土地家屋調査士会本部と同萩支部に対し頭を下げ、お礼を申し上げます。



熱戦を戦い抜いて

# 中国ブロック釣り大会に参加して

山口支部 小嶋 慎一郎

去る5月1日から5月2日にかけて中国ブロックの釣り大会が四国宇和島沖の御五神島周辺で各県から釣り好きな総勢16名の会員の参加によって開催されました。

本会からは、青木、藤原会員そして私、オプザーバー参加で準会員の三原氏（法務局OBで現人権擁護課付）の4名が参加しました。

絶好の天気にも恵まれ大会は船釣り、磯釣りの部に分散して朝4時起床、5時出船です。

前夜（5月1日）宿に早めに集合して酒を酌み交わしながら大会、トトカルチョの打ち合わせも済ませ早々と床につき翌日の大会に

臨みました。

当会のメンバーは全員が磯釣りです。大物のケロ（メジナ）を夢見て参加しましたが、三原氏が72cmのスズキをゲット。私はブダイのみ、他の参加者いずれも目的魚が釣れず結果におわりましたが、多いに懇親を深め、来年の大会を、島根会のお世話で隠岐島の島前にて開催することを決定して散会しました。

！！来年は一緒に行きませんか？

私または、会事務局へお申し込みください。お待ちしております。！！





# 趣味の人

山口支部 柴田 敏 明

趣味の領域をはみだして、完全に副業化していますが、ラジコンのヘリコプターを使って水稲の農薬散布を行っています。

ヘリコプターは、

名 称	産業用無人ヘリコプター
型 式	ヤマハ R-50
全 長	3,580mm
全 幅	700mm
全 高	1,080mm
メインロータ直径	3,070mm
装備重量	67kg
エンジン	水冷、単気筒、98cc、12PS

農薬を、8リットル搭載して、約1ha(100m×100m)の散布を、条件のいいところで、所要時間約15分でおこないます。

私は、阿東町で水稲2.5haを栽培する農家ですが、真夏の農薬散布は大変な重労働です。そこで、なんとかいい方法はないものかと思っていたところ、平成4年に、デモフライトを見るチャンスがあり、これだと思い、さっそく受講しました。(このヘリを飛ばすには、なんと免許が必要なのです。受講費用は当時で48万円)平成8年にヘリコプターを購入(価格815万円)して、自分の所だけでなく、他の農家の散布作業も受託しております。

まだまだ、利益ができるまでにはいきませんが、趣味と実益をかねて、がんばっていきたいと思っています。

皆さん、阿東町のおいしいコシヒカリを食べて下さい。

御希望の方には、直販致します。





# 拓ちゃんのCDできました

Tanaka Takuro

H3

1. 青春の足音  
2. 拓ちゃんのテーマ  
3. 拓ちゃんの歌  
4. 拓ちゃんの歌  
5. 拓ちゃんの歌  
6. 拓ちゃんの歌  
7. 拓ちゃんの歌

土地家屋調査士

田中拓朗



販売は通信販売のみ

オフィスタナカ (0834-39-0001) まで

料金は 2,000円です

ぜひ お買い求め下さい どうぞ よろしく  
お願い致します

皆さんの ご連絡 待っています

皆さん お元気ですか  
僕は元気です

さて 長年温めてきました僕のCDが やっ  
と出来上がりました

皆さんに 是非聞いていただきたく 登場い  
たしました

CDの内容は 僕が大学生の時に 書き溜め  
ていたオリジナル曲の中から 自分の気に入  
った曲を6曲 プロのバック演奏で歌ったも  
のです

ジャケットも ニューヨークでとったもので  
すべてがプロっぽく作った自分でも絶賛の  
CDです 是非是非聞いて下さい

写真は ついでに CD発表を記念して 夏  
だ!ビールだ!!拓ちゃんだ!!!

と題して パーティーをやっちゃった時のも  
のです

これも 沢山の友達に来ていただき 自分自  
身とても楽しいものでした

とにかく 皆さん 聞いて下さい 笑ってくだ  
さい

田中拓朗

徳山市松尾3丁目1番5号

TEL 0834-39-0001

FAX 0834-39-0004



事務局  
だより

## 会 員 異 動 状 況

## 1. 会員入会状況

	氏 名 (生年月日)	入 会 年月日	事 務 所	TEL	FAX
	山崎 藤若 (S8.6.28)	11.6.1	〒753-0046 山口市本町一丁目2番2号	(0839) 22-2213	(0839) 24-3628

## 2. 会員脱会状況

支 部	地 区	氏 名	脱会年月日	備 考
岩 国	柳 井	黒 光 二	11.5.25	廃業
徳 山	光	通 山 晃 男	11.5.31	廃業
宇 部	宇 部	繩 田 美 介	11.6.28	廃業
山 口	山 口	浅 原 真	11.6.30	廃業

## 3. 事務所住所変更

支 部	氏 名	変更年月日	変更事項	変 更 内 容	TEL
防 府	徳 本 富士男	52.3.7	住 所	〒747-0836 防府市大字植松1560番地の2	
下 関	米 谷 敏 昭	60.4.1	住 所	〒751-0802 下関市勝谷新町四丁目1番5号	
岩 国	杉 山 浩 志	9.3.28	住 所	〒740-0724 玖珂郡錦町大字広瀬6765番地6	(0827) 72-2375
下 関	時 野 博 道	更正	事務所	〒750-0424 豊浦郡豊田町大字矢田157番地の5	(0837) 66-2363
		11.3.10	住 所	〒750-0422 豊浦郡豊田町大字植原88番地	(0837) 66-0431
下 関	百合野 操	11.3.15	住 所	〒751-0823 下関市豊船町二丁目3番23号	FAX (0832) 31-1582
下 関	義 謙	11.6.19	事務所	〒750-0061 下関市上新地町五丁目1番C-512号	

# 会 務 報 告

年 月 日	会 務	場 所
11.5月6日(木)	会員指導会議	山口地方法務局
7日(金)	防府支部総会	防府市
11日(火)	広報部会	調査士会館
20日(木)	司法書士会 定時総会	小郡町
20日(木)	大田清治 新入会員登録済証交付式	調査士会館
25日(火)	正副会長会議	調査士会館
25日(火)	部長会	調査士会館
25日(火)	総会打合せ	調査士会館
26日(水)	定時総会	ばるるプラザ山口
28日(金)	行政書士会 定時総会	小郡町
28日(金)	社会保険労務士会 定時総会	山口市
29日(土)	岩国支部総会	岩国市
6月1日(火)	正副会長会議	調査士会館
4日(金)	萩支部総会	萩市
5日(土)	下関支部総会	下関市
11日(金)	徳山支部総会	徳山市
18日(金)	宇部支部総会	宇部市
18日(金)	会員指導協議会	山口地方法務局
18日(金)	山崎耕右 新入会員登録済証交付式	調査士会館
19日(土)	山口支部総会	司法書士会館
25日(金)	第55回 日調連総会	東京都
26日(土)		
29日(火)	理事会	調査士会館
30日(水)	注意勧告委員会	調査士会館
7月2日(金)	法律関連士業ネットワーク理事会 定期総会	山口市
6日(火)	業務部会	調査士会館
12日(月)	正副会長会議	調査士会館
14日(水)	広報部会	調査士会館
19日(月)	境界鑑定委員会組成に伴う勉強会	大阪府
21日(水)	中国ブロック会長会議	島根県
22日(木)		
30日(金)	支部企画委員と本部業務部との協議会	山口市
30日(金)	研究室会議	調査士会館

# 広報部 新メンバー 紹介



広報担当副会長の

三好 一敏です。



広報部長の

打越 充浩です。



広報副部長の

坂本 敬子です。



理事の

柴田 敏明です。



理事の

三刀屋 康之です。

広報部  
より

**発行** 山口県土地家屋調査士会  
山口市惣太夫町2番2号 〒753-0042  
電 話 (083) 922-5975  
F A X (083) 925-8552  
振 替 01590-5-11085

**発行者** 山口県土地家屋調査士会  
会 長 乗川 良介  
広報担当副会長 三好 一敏  
広 報 部 長 打越 充浩  
副 部 長 坂本 敬子  
理 事 柴田 敏明  
                  三刀屋康之

**印刷所** (株) マ ル ニ

# 9月1日は杭の日です

あなたの  
土地には  
境界杭が  
ありますか？



**杭**を残して**悔**を残さず

境界杭が  
あなたの土地を守ります。



山口県土地家屋調査士会 ☎ (083) 922-5975

9月、10月は境界杭設置強化月間